

BRIDGEPLUS

関東労災病院医療連携情報(令和5年2月号)

Information

診療科紹介 (腎臓内科)

診療科紹介 (皮膚科)

診療科紹介 (小児科)

診療科紹介 (放射線治療科)

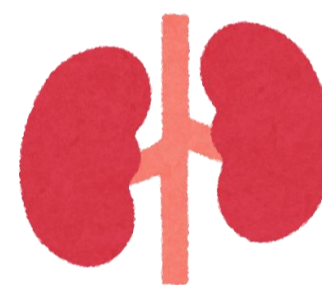
診療科紹介 (整形外科・切断指再接着手の外科センター)



診療科紹介 (腎臓内科)

健康診断での異常や、慢性腎臓病、腎炎、ネフローゼ、腎不全、腎不全合併症、急性血液浄化療法など幅広く対応いたします。

(腎臓内科 部長 横地 章生)



健診による尿検査異常から、電解質異常、腎炎、急性腎不全、慢性腎臓病まで腎疾患全般の診療を行なっています。また血液透析や腹膜透析の導入、そのアクセス(内シャント、腹膜透析カテーテルなど)関連手技にも力を入れて取り組んでいます。腎移植以外の腎臓疾患すべてに対応し、地域の腎臓医療に貢献したいと考えています。

腎臓内科では6名のスタッフ(うち腎臓専門医4名、透析専門医4名)で診療にあたっています。尿所見異常や腎炎が疑われる場合には積極的に腎生検を行い診断と治療法の選択を行なっています。慢性腎臓病診療においては地域の先生方との連携が欠かせず、今後も協力して診療を行わせていただきたいと思います。また当科では炎症性腸疾患の白血球吸着療法や、自己免疫性疾患に対する血漿交換療法など多様なアフェシス療法にも他診療科と協力して対応しています。

ホットラインを開設しており、電解質異常や急性腎不全など緊急性を要する患者さんの救急診療を積極的に応需しています。何かございましたらご連絡をいただきたいと思います。



かんろう腎臓病ホットライン 044-381-9348

本誌へのご意見、ご要望がございましたら、右記mailへお寄せ願います。地域医療連携の充実に役立てていけるよう努めてまいります。

発行人:地域医療連携室
☎044-411-3131
mail:renkei4@kantoh.johas.go.jp

BRIDGEPLUS

診療科紹介 (皮膚科)

なかなか改善されないかゆみに悩む患者さんは、ぜひ当科にご紹介ください

(皮膚科 部長 足立 真)



皮膚科には現在、3人の日本皮膚科学会認定専門医および1人の後期研修医が所属し皮膚にみられる全ての症状を対象に診療していますが特に尋常性乾癬やアトピー性皮膚炎、帯状疱疹や丹毒などの皮膚感染症、基底細胞癌やボーエン病などの皮膚悪性腫瘍の患者さんの紹介受診が多くを占めています。足立部長の専門とする尋常性乾癬の治療においてはこの12年間、生物学的製剤治療の神奈川県内の中核センターとして延べ数百人の乾癬患者さんが種々の生物学的製剤で治療を受けています。また最近ではアトピー性皮膚炎の生物学的製剤治療やJAK阻害剤による治療にも積極的に取り組んでおり、かゆみが速やかに消失するという従来のアトピー治療では予想できない効果も認められています。

地域医療支援病院である当院は地域の診療所との病診連携に基づく診療が基本ですので当科で皮膚生検による診断や一定の治療が終了した患者さんは紹介元に逆紹介する例が多いです。

診療科紹介 (小児科)

関東労災病院小児科は、新生児から中学生までの小児を対象に、総合的な視点で標準的なプライマリ・ケアを提供できるように努めています

(小児科 部長 藤岡 憲一郎)

【小児科のスタッフ】

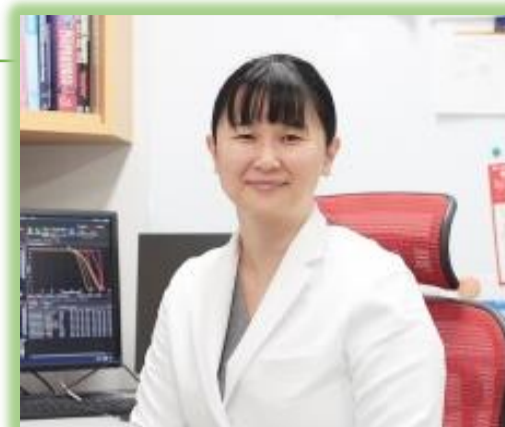
藤岡憲一郎 (部長) 仁村敦子 (副部長) 金澤典子 (医員)

- ① 新生児医療
産婦人科と連携し院内で出生した新生児の診療をおこなっています。必要があれば新生児室に入院します。
- ② 入院診療
軽症から中等症の疾患に対して入院診療を行っています。未就学児は保護者の付き添いが必要、就学時から付き添いなしのお預かり入院としています。
- ③ 外来診療
午前一般外来は、紹介状のない方も事前の予約がない方も11時までに受け付けしていただければ診療します。午後の外来はすべて予約が必要です。心臓外来、腎臓外来、内分泌外来、1ヶ月健診と乳幼児健診、予防接種外来をおこなっています。午後の外来は必ず予約が必要です。(2023年3月末で心臓外来、内分泌外来、腎臓外来はなくなります)
- ④ 救急・時間外診療
川崎市小児2次輪番病院を月2回担当しています。時間外、夜間の診療は行っていません。

診療科紹介 (放射線治療科)

全身の悪性腫瘍に対する放射線治療を行っております。
適応に迷われる場合にはお気軽にお問い合わせください

(放射線治療科 部長 荒平聡子)



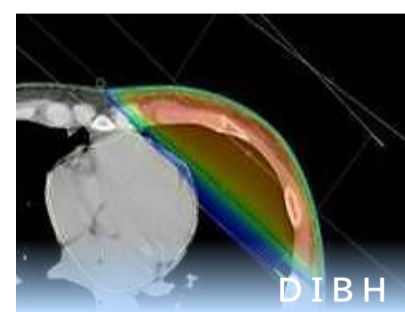
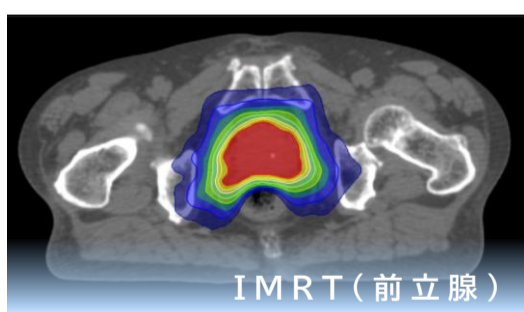
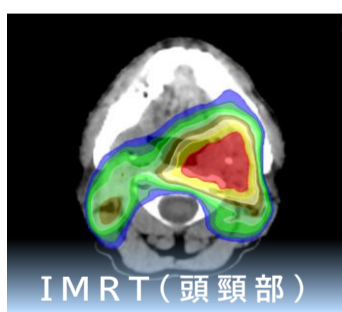
当院は地域がん拠点病院であり、放射線治療の適応となるほぼ全ての悪性腫瘍に対する放射線治療を行っております。医学物理士や品質管理士、放射線治療専門放射線技師といった専門資格をもつスタッフを擁し、定位照射や強度変調放射線治療(IMRT)等の高精度治療から、緩和照射まで多様な治療に対応しております。また、専任看護師が2名おり、治療期間中のケアやサポートも充実しておりますので、多くの方が通院での治療を希望されます。

当院の放射線治療の特徴

1. 全身の悪性腫瘍に対応いたします
2. 短期照射を積極的に行っています (前立腺癌など)
3. 通院治療に力を入れています
4. 甲状腺眼症等の良性疾患へも対応しています

緩和照射は、病状や全身状態に応じて治療回数を設定しており、1回照射も積極的に行っておりますので、連続した通院が困難な方にも対応可能です。また、脊髄圧迫や気道狭窄など緊急時には可及的速やかな対応をいたしますので、まずは医療連携室にご連絡ください。

当院で実施している高精度放射線治療 (一例)



放射線治療については当HP、放射線治療科の「放射線治療を希望される皆様へ」タブに
詳細を載せておりますので、そちらもご参照ください

<https://kantoh.johas.go.jp/department/houshasen/index.html>



放射線治療を行う際には治療開始前ないしは数か月以内の画像が必要です。郵送よりは患者様に
画像データを持参していただく方がより早く対応できます。また、画像検査が必要な場合は
オンライン予約サービスも行っておりますので、こちらも併せてご利用ください。

切断指再接着、指再建移植は 当科へご紹介ください

(整形外科・切断指再接着手の外科センター 部長 小林康一)

平素よりお世話になっております。上肢外傷の手術は、ほぼ外来手術で対応しておりますので、コロナ体制下でも通常通りの手術を行っております。紹介患者様の待ち時間が比較的長くなってはおりますが、ご紹介の患者様はできるだけ1週間以内に臨時枠で手術しておりますので、ご容赦いただければと存じます。上肢外傷救急も応需制限予定はございません。今年度、高倍率顕微鏡を新たに購入予定で、指尖部再接着を並列で行うことが可能となります。潰れた指を丸めることになっても、当院では指再建移植手術も行っております。(再建手術の論文を整形外科・手の外科のHPにリンクしております。)よろしくお願い致します。

| 診療実績 | 2020年 | 2021年 | 2022年 |
|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 骨折・関節/靭帯損傷 | 319 | 425 | 507 |
| 末梢神経の手術 | 55 | 93 | 100 |
| 炎症性疾患の手術 | 19 | 80 | 80 |
| 腱損傷の手術 | 108 | 44 | 53 |
| 腫瘍性疾患の手術 | 30 | 48 | 50 |
| マイクロサージャリー 再接着 | 21 | 47 | 41 |
| マイクロサージャリー 再建術 | 8 | 4 | 11 |
| マイクロサージャリー その他 | 53 | 33 | 42 |
| 皮膚・軟部組織の手術 | 44 | 50 | 84 |
| その他 | 22 | 23 | 26 |
| 合計 | 679件 (554人) | 847件 (727人) | 994件 (844人) |

今年もグーグルの検索トップになりました。

